

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	一般社団法人 関西浜通り交流会
活動テーマ	原発事故による避難者の見守りと交流活動



春の交流会『吉野の千本桜』（貸し切りバス）



故郷の言葉で気兼ねなく昼食会



秋の交流会『近江八幡・街並み散策』



ロープウェイで『村雲御所』へ

<交流会の開催>

- 交流会終了後に個々人で連絡を取るなど、ゆるやかなコミュニティ形成につながっている。境遇が似た避難者同士であることや、比較的小さな市町村出身であるため繋がり易いことなどがその理由と考えられる。
- 避難解除はされたものの実際には帰還の目途が立たず関西に移住を考える人もおり、既に関西地域で社会人として生活しているスタッフとの交流がそのサポートとなる面がある。
- お茶会などの小規模交流会の他に、観光バスツアーを開催することにより、小規模交流会には参加しない避難者や、新規の参加者、久しぶりに参加される方との交流も好評である。

<戸別訪問>（関西・北陸・中国四国地方）

- 福島より広域避難されている方々特有の悩み事や心配事などを同じ地域出身のスタッフや震災当初より支援にあたっているスタッフには本音で話すことができ、心のよりどころとなっているため継続希望が多数である。